

君に贈る物語

先輩から後輩へ、 本のレコメンデーション!!

先輩が後輩に読ませたい1冊を選び、
それぞれ感想を寄せてもらいました。



後輩: 及川 結貴のレビュー

社会人になって3か月。楽しいことや嬉しいことも沢山あるのですが「なんだかうまくいかないなあ」と落ち込む場面もよくあります。「失敗しちゃった! どうしよう... 見捨てられてしまう...」「失敗する自分はとても悪い奴だ」とかいう極端な考えをしてしまいがちなのですが、この本ではそういった考えを否定していました。

この本のテーマは「自尊心をどう高めるか」ということでした。実践できる格言が100個、解説と一緒に載っています。「まず自分をほめる」「毎日30分、自分のための時間を持つ」などすぐに試せる具体的なことから、「仕事を楽しむ」「自分の望む人生を歩む」など長期的で目標設定が必要なものもありました。

特に印象に残ったのが「相手にどう思われているのか気にしない」「良い・悪い」という判断をしないという言葉です。新入社員として先輩方や取引先の方々にどう思われているのかとても気になります。嫌われてないか、嫌われてなくても嫌われるようなことをしてしまっていないか。気に始めると止まらなくなってしまいます。しかし「相手が自分に与える印象を気にしない方が、良い印象を与えられる」という考え方を学んで無駄に考え込むのはやめようと思いました。適度な配慮は必要だと思いますが、のびのびやっている方が自分らしく、結果的に好印象な気がします。

考え方が極端なものも自分の悪い癖です。これは良いことこれは悪いことだからこれは成功!失敗!とハッキリ分けがちなのですが、実際はそうでもないようです。「出来事は視点によって価値が変わるから、どうせなら『悪い』ではなく『良い』と考える」これを実践して仕事や普段の日常から沢山の『良い』を見つけてみようと思います。

先輩: 有馬 健斗のレビュー

本書を一言で表すと「とにかく優しい本!」、これに尽きると思います。著者の経営者としての経験から紡ぎ出した前向きになれる100の優しく温かい言葉が本書には詰め込まれています。

入社してから約3か月、研修期間が終わって配属も決まり、7月からいよいよ駒田印刷社員として本格始動の及川さん。そんな及川さんの胸中を想像すると、不安と期待が半分半分(期待の方が大きいと嬉しいのですが)くらいなのかな?と思います。そんな節目の時期、今よりもっと前向きな気持ちになってもらおうと思い、本書を選びました。周囲の環境が大きく変わり、良い意味でも悪い意味でも心が揺り動かされるこの時期、本書を読んで共感し、時には励まされながら、爽快なスタートダッシュを決めていただければ嬉しい限りです。

ここで私の本書の好きな言葉を発表します。「自分を許す」「さらにポジティブになる」「自分の個性を受け入れる」「一部の人に嫌われても気にしない」「耳の痛いことでも快く受け入れる」「自分で自分を苦しめない」「人生は不公平だと考えない」「良い人間関係を楽しむ」「今、幸せだと気づいている」。本書にはこのような言葉が100個記されています。もちろん100個全て共感できるかといったらそうではありません。それでも100個もあれば必ず1つは心に響く言葉を見つけられると思います。そして、その1つさえ実践できれば、それだけで本書を購入した意味が果たされるのではないかと、私は思います。



今回の書籍

「うまくいっている人の考え方」
著者: ジェリー・ミンチントン
出版: ディスカヴァー・トゥエンティワン
価格: ¥1,100 (税込)

マーケティンググループ
及川 結貴

マーケティンググループ
有馬 健斗



ぶちデザイン講座 for ノン・デザイナーさん

Lesson#10 テクスチャーは雄弁に語りかける

デザインをする上で大切な要素の一つが「質感」です。「高級そう」とか「温かみがある」といった印象のかなりの割合を生み出しています。



▲水滴のテクスチャーで季節感や透明感を演出

そしてその質感を表現するために用いるデザインパーツを「テクスチャー」といい、これを上手に取り入れることが効果的なデザインへの近道です。無料の素材も多くあるので、ぜひピッタリなものを探して使ってみましょう!



▲木の看板モチーフでほのぼのとした牧歌的なイメージをつくる



▲高級な台紙の雰囲気でお上品な印象を与える

～編集後記～

▲長く続いた外出自粛のうっぴんを晴らすかのように、コマダグループのスタッフたちからも今回の巻頭特集やライフハックのコーナーにおすすめスポット情報がたくさん寄せられました。なかでも複数の人が挙げていたのが、森の中でさまざまなアトラクションが楽しめる「フォレストアドベンチャー」。なんでそんなに人気なのかと調べてみたら、三重県・湯の山、愛知県・新城、よこはま動物園ズーラシア隣接地など、コマダグループ3社があるエリアをはじめ全国展開している施設でした。

▲昨年5月には豊田市・鞍ヶ池公園にも最新の「フォレストアドベンチャー」が誕生。さらに同公園内には人気のアウトドアブランドのショップ・レストラン・手ぶらキャンプができるゾーン「パークフィールドスノーピーク」、スターバックスコーヒーも加わりました。ボート池や動植物園がある広い園内の移動には、東京五輪で活躍した5人乗り電気自動車「APM」、立ち乗り型電動三輪車「C+walk T」なども利用できるとか。老若男女を問わず、それぞれの楽しみ方で過ごせる名古屋郊外の穴場かもしれませんよ。

SARADA GEKIDAN

お出かけの参考!



サラダ劇団

Tel: (052) 331-8881 (代) Fax: (052) 332-3178 <https://www.kp-c.co.jp>

VOL. 73 2022

駒田印刷株式会社

この情報紙は駒田印刷とお取引頂いたお客様や、名刺交換をさせて頂いた方に、季刊で役立つ? 楽しい? 情報をお届けしています。どうぞ皆様でご覧ください。また、毎号同梱している人気のオマケグッズも、ぜひデスク周りやご家庭でお使いくださいネ!

料金後納

ゆうメール



新型コロナの流行の勢いも下火になり、この夏はお出かけ気分の方も多はず。最近1年でオープンした話題のスポットについて、コマダグループ各社のエリアからおすすめをご紹介します。



VISON (ヴィゾン) が、すごい!



農園・木育・ホテル・温湯施設などのエリアが点在し、まるで「村」に遊びに来たよう。おすすめは建物ごとに「味噌」「醤油」「昆布」などの専門店になっている「和ヴィゾン」エリア。数十種類の素材を組み合わせて作る「世界で一つの汁」は感動モノです。また、飲食関係も大充実! 地産地消に力を入れ、伊勢湾で採れた海産物をバーベキューで楽しむこともできます。器具も貸し出しているので手ぶらでOK。伊勢神宮からは車で20分、名古屋からのバスもあり所要時間は約1時間40分です。

Komada Group Presents
今年の夏はここがアツい!
SUMMER 2022

本格ビュッフェを味わえる! (マメボシ)
VISIONにバギーパーク OPEN
ヤネルBBQ
換気システムもバッチリ!
YOKO HAMA
by エイコープリントスタッフ



名古屋市内に 新たなキャンプ場



市民の憩いの場・守山区の小幡緑地本園に昨年、新たな施設「オパッタベッタ」が登場! 豊かな自然の中、地元食材を生かした料理が味わえるビュッフェレストラン「マメボシ」、手ぶらでバーベキューが楽しめる「ヤネルBBQ」、個性的なデザインのキャビンや持ち込みテントでお泊りキャンプができる「ヤネルCAMP」を備えています。近くにはこれまた昨年オープンした「コストコ守山倉庫店」が、こちらで必要なものを揃えてキャンプというのもありかもしれません。

みなとみらいが、また進化!

昨年4月の誕生時から話題なのが、JR「桜木町」駅前から赤レンガ倉庫エリアにも近い「運河パーク」駅までを結ぶロープウェイ「ヨコハマエアキャビン」。冷房完備なので、夕涼みがてら高層ビル群や大観覧車の景色を楽しむのもおすすめです。今年に入ってから、みなとみらい線「新高島」駅近辺に新しい施設が次々と誕生。横濱ゲートタワー内に「コニカミノルタプラネタリウムYOKOHAMA」が、LG横浜イノベーションセンターにはデジタル技術が体感できる「ユメサキギャラリー」がオープン。6月には「ウェスティンホテル横浜」も開業しました。



Special オマケ

サラダ劇団オリジナル・白木箸 繰り返し使って脱・プラに貢献!
お弁当箱ひろげたら「あっ! お箸忘れた!」そんな時のために、職場に「置き箸」はいかがですか?

みんなに聞いたライフハック

あなたの毎日に なるほどヒント!

第3回

屋外レジャーを楽しもう!



知っておきたい
豆知識

海 辺で使ったテントは真水で洗ってきちんと乾かして収納を。そのまましまうと磯臭くなってしまいます!(駒田印刷 白川友華)



山 の中へ入るなら、スズメバチやアブが寄ってくる黒っぽい服は着ないように。逆に明るい色や花の香りのする香水も虫を集めてしまうそうですよ。(駒田印刷 加藤千映子)

ハ ッカ油をスプレーすると虫よけに。陸上自衛隊では常識だそうです。(駒田印刷 島田万莉子)

パ ーベキューの肉はリンゴジュースをかけておくとおいしくなります。(駒田印刷 中村祐貴)



今回はシーズン到来の屋外レジャーにまつわるあれこれ。ちょっとしたコツから失敗談まで、ぜひ参考してみてください。



こんな楽しみ方はいかが?

屋 外での親子読書。外での絵本読み聞かせ。Wi-Fiなんて不要、近場でもかけがえのない時間になります。(伊勢出版 前田直樹)

津 の伝統行事「たてばし」。海の浅瀬に網で囲いを作って魚を手づかみ!人間の狩猟本能が呼び覚まされます。津に来たらぜひ!(伊勢出版 梶川洋)



逗 子海岸に遊びに行き、砂浜に落ちていたガラスで足の裏をざっくり。一度も海に入れませんでした。(エイコープリント 渡辺昭弘)



うっかり忘れて
大失敗

高 級牛肉をバーベキューの一番メインにとっておいたのに、あれこれ楽しんでいるうち忘却のあなたに…。食材を持っていきすぎも考え物ですね。(伊勢出版 加藤恵美)

せ っかくログハウスを借りたのに、その外で飲みすぎて、結局そのまま寝てしまい…。(駒田印刷 横山英幸)

川 遊びに行き、びしょびしょになったところで着替えを忘れたことに気づきました!(駒田印刷 兜森早也佳)



…ほかには日焼け止めを忘れて後が大変だったという声が多数。足元に塗り忘れ、クロックスの穴の形に日焼けし、すみずみまで塗る大切さを知ったという人も。また、炎天下のバーベキューも熱中症と日焼けにはご用心。待ちに待った夏の屋外レジャー、どうぞ安全に、楽しい思い出になりますように。

Good Company, Good Job!

きらりと光る 企業さん

株式会社アフェクトホールディングス様

■創業 2011年(株式会社ビバントとして)
■設立 2020年 アフェクトホールディングスとなる
■本社 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目
https://www.affecthd.com/

サービス付き高齢者向け住宅「フルール」▶



介護を柱に、人々に安心、健康、生きがいを

株式会社アフェクトホールディングスはサービス付き高齢者向け住宅「フルール」の運営会社5社をはじめ、会員制パーソナルジム「LUXURY SPACE Act」の運営をする株式会社アフェクト、介護・看護の人材派遣事業を展開する株式会社リベルタによって構成されています。法人数も着実に増え、「社長になれる会社がある」のキャッチコピー通り、毎年のように新社長が誕生しています。

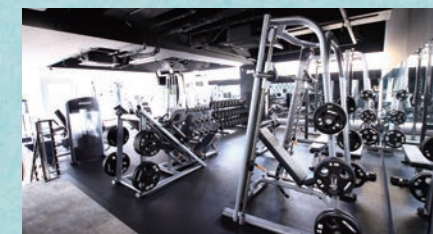
2012年に最初のサービス付き高齢者住宅を開業して以来、愛知・岐阜県下で14施設、400名を超える職員を擁するまでに成長を遂げたアフェクトホールディングス。その出発点は、入居者さんのお孫さんたちも気軽に訪れたいような空間を創りたいという思いにあります。いずれの施設も我が家のような温かみのある空間と、居室はもちろん共有スペースもゆとりある快適な住環境が自慢。日々をいきいきと過ごせるよう、レクリエーションやイベント、食事メニュー、日常生活のケアも充実。また、提携病院による定期的な健康診断、定期的な職員の見回り、緊急時の迅速対応にも努め、入居者さんとそのご家族に安心をお届けしています。加えて、グループ企業・アフェクトが展開するパーソナルジムのノウハウを生かし、トレーナー監修の体操を通して入居者さんとスタッフの体力づくりとストレスのない健康的な生活を応援。こうした取り組みは「すべての人に健康と福祉を」というSDGsの目標の実現にもつながっています。他にも、人材教育、働きやすい職場づくり、節電やリサイクル・環境への配慮など、グループ全体でSDGsに向けたさまざまなアクションを推進しているのも大きな特徴です。

来年には岐阜県大垣市に新施設「フルール大垣屋敷」、三重県にも新施設を開業する予定です。グループの強みを存分に生かしたアフェクトホールディングスの事業展開、その躍進はとどまるところを知りません。

このコーナーでは弊社とお付き合いのある企業さんをご紹介します。今回は、弊社がSDGsに対応したFSC認証紙でパンフレットを作成させていただいたアフェクトホールディングスさん。サービス付き高齢者向け住宅の運営のほか多角的な事業で躍進中です。



施設パンフレット



会員制パーソナルジム「LUXURY SPACE Act」

Information

News 1 発売開始から16年!! 『ノートカレンダー』

おかげさまでノートカレンダーも誕生から16年目を迎えました。発売当時は米国でiPhoneが登場し、ほどなくして日本でも販売が開始された頃。すでにデジタルガジェットの波はすぐそこまで押し寄せてきていたわけだけ。「こんな時代に、いったい誰が紙でスケジュール管理なんてするんだ?」と、社内でも首を傾げられたものです(笑)。

そんなノートカレンダーですが、結局その魅力とは、デジタルツールで感じる不便さや残念さの裏返しのような。広い面積で一覧できるとか、サッと取り出せてパッと使えとか、なにより味・風合いといった「エモさ」がPCやスマホには無い魅力なんです。

デジタルにお疲れぎみの方、またアナログに戻ってみる、なんていかがですか?

名入れノベルティに! 100冊からお届け致します。



News 2 新入社員4名が各自SNSアカウントを運営 発信しながら学び続けています!

駒田印刷の新入社員は、合同研修が終了したのち、1年間かけて自分たちの課題に取り組みます。今年彼らに与えられた課題は、「1年後の理想の自分を思い描き、そうなるために何かひとつ自分に課題を課すこと」。そこで彼らを選んだのは「SNSでの情報発信」です。自分が不得手だと思うこと、もっと伸ばしていきたいと思うこと「ひとつだけ」をテーマにしたアカウントを運営することで、自ら学んで行こうというわけです。

各自のテーマは「色日記」、「紙のある日常」、「1日1熟語1例文」、「心に残る広告コピー」といった、メディア関連企業ならではの内容ばかり。もしかしたら皆さんのお役に立てる情報もあるかも?!お暇な時にでも、ちょっと覗いていただけたら幸いです。

